

第14回 地域肝炎治療コーディネーター教育セミナー

2017.6.22 (木)

ホルトホール大分

豊肥地域におけるC型肝炎診療

豊後大野市民病院 消化器内科

棚橋 仁

本日の内容

1. はじめに
2. 豊肥地域について(地理・人口構成など)
3. 当院でのDAAAs治療の現状
4. 当院におけるC型慢性肝炎の掘りおこし

本日の内容

1. はじめに
2. 豊肥地域について(地理・人口構成など)
3. 当院でのDAAs治療の現状
4. 当院におけるC型慢性肝炎の掘りおこし

はじめに

- C型慢性肝炎はDAA（Direct Antiviral Agents）により、100%近く治癒する疾患になった。
- 大分県の中でも高齢化が著しい豊肥地区での肝炎治療の現状を報告する。
- 潜在しているC型慢性肝炎患者を掘り起こすことが急務であり、当院での取り組みを紹介する。

本日の内容

1. はじめに
2. 豊肥地域について(地理・人口構成など)
3. 当院でのDAA治療の現状
4. 当院におけるC型慢性肝炎の掘りおこし

豊肥地区



人口

- 59,024 人(対前年-1,129人)
(大分市: 478,635人)
- 竹田市 21,850人(▲2.33%)
- 豊後大野市 36,077(▲1.60%)

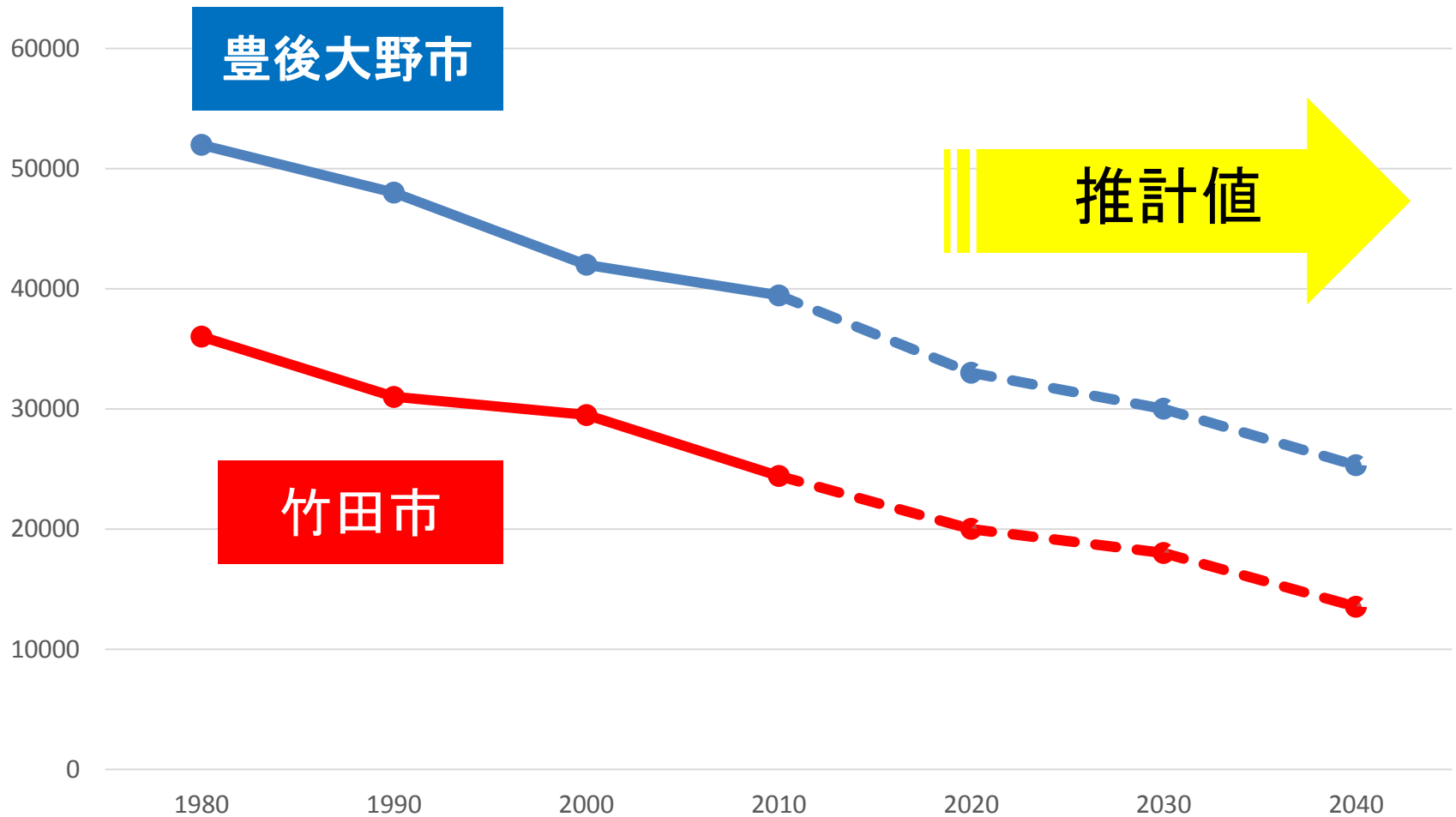
高齢化
≥75歳

- 竹田市 27.6% (県内1位)
- 豊後大野市 24.7%(県内2位)
- 大分市 11.9%





豊肥地区の人口推移



豊後大野市民病院

診療科科目

- (1) 総合内科 (2) 呼吸器内科 (3) 循環器内科 (4) 消化器内科 (5) 消化器外科
(6) 整形外科 (6) 麻酔科 (7) 小児科 (8) 婦人科 (9) 眼科 (10) リハビリテーション科
(11) 放射線科 (12) 泌尿器科 (人工透析)

■病床数：199床

(一般病床156床 / 感染症病床4床 / 療養病床39床)

■外来患者数

平成27年度：93,951人 (1日平均：378人)

■入院患者数

平成27年度：60,725人 (1日平均：165.5人)

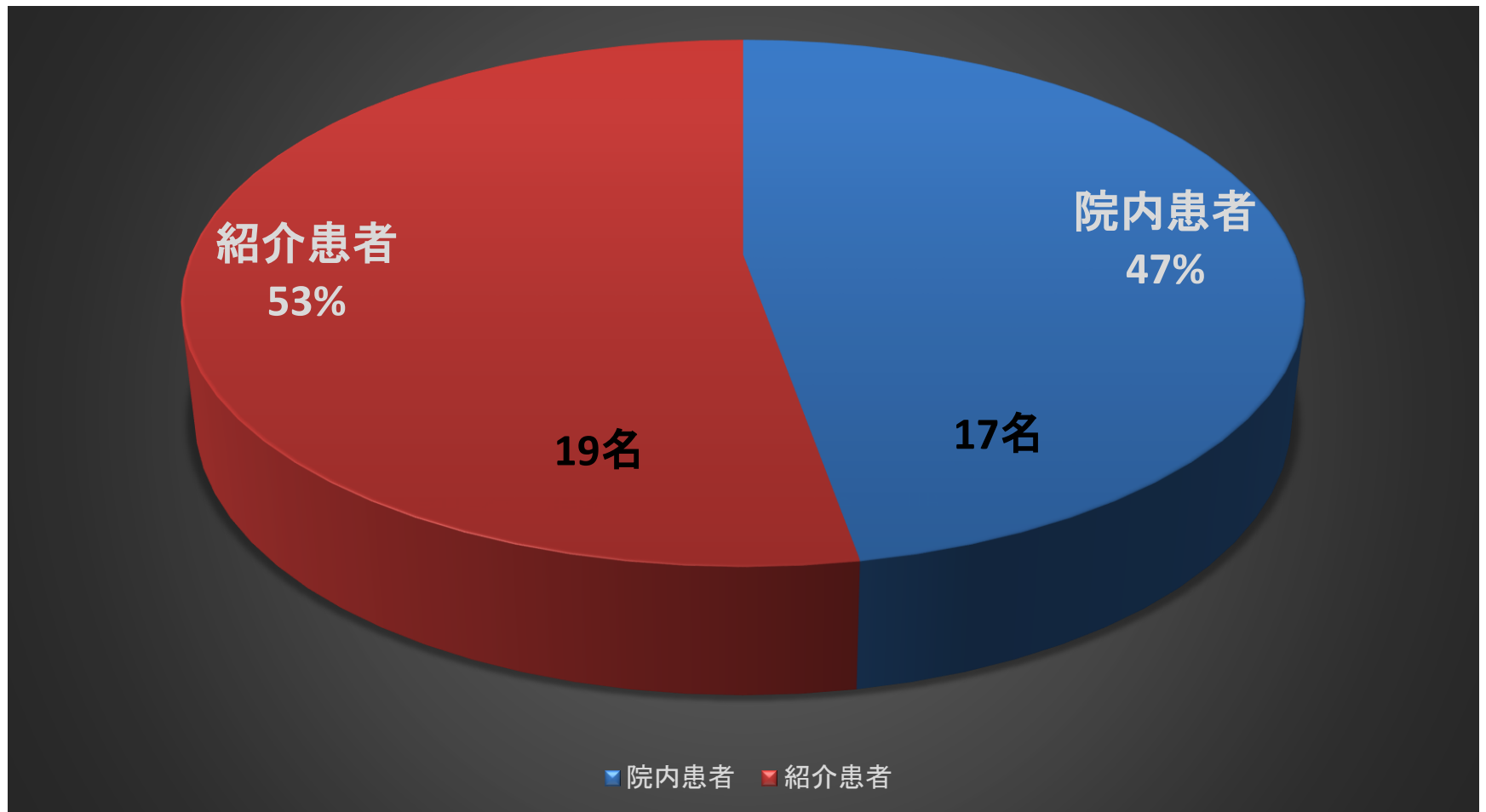


本日の内容

1. はじめに
2. 豊肥地域について(地理・人口構成など)
3. **当院でのDAAs治療の現状**
4. 当院におけるC型慢性肝炎の掘りおこし

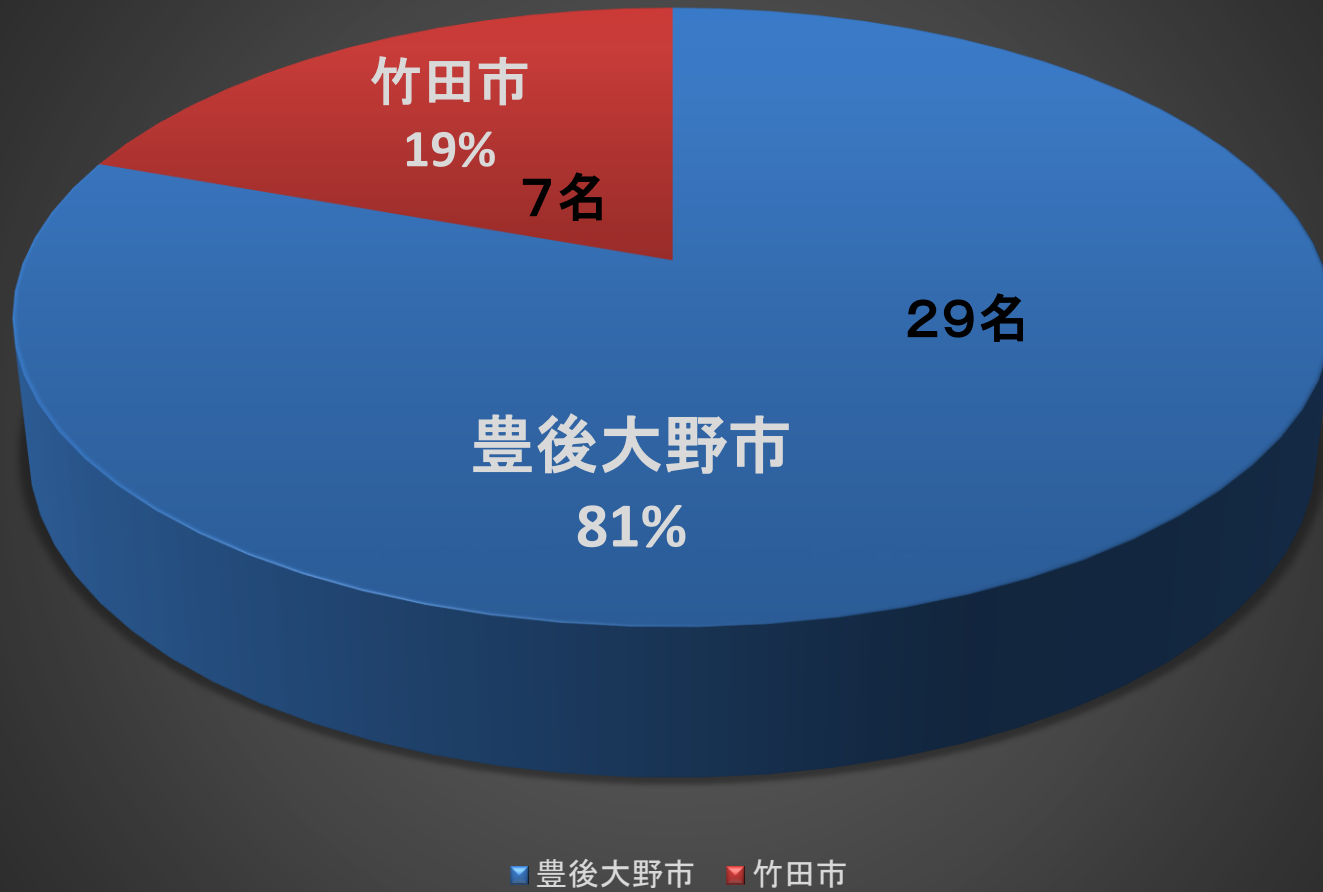
当院でのDAA治療の現状①

紹介率



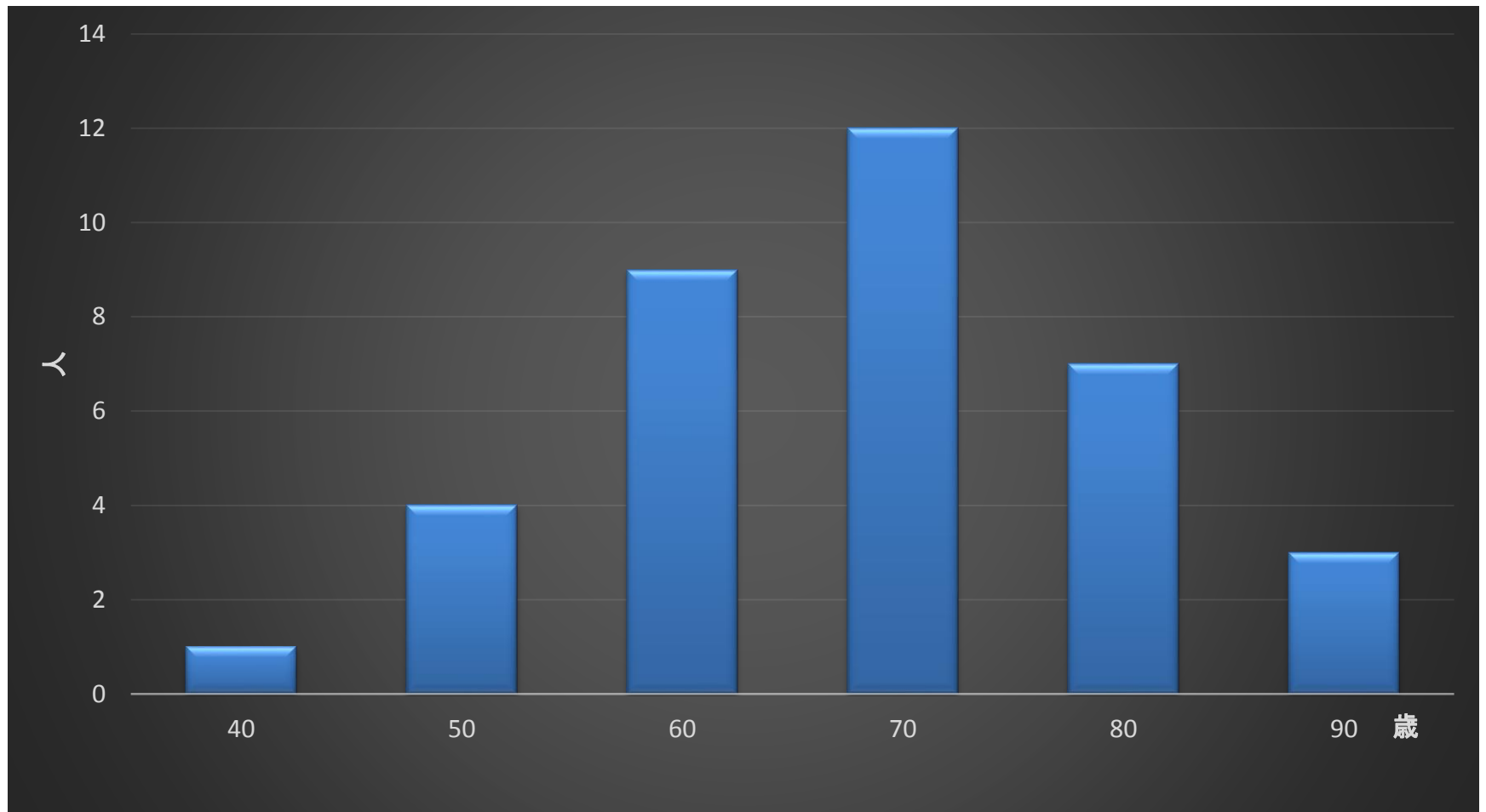
当院でのDAA治療の現状②

居住地



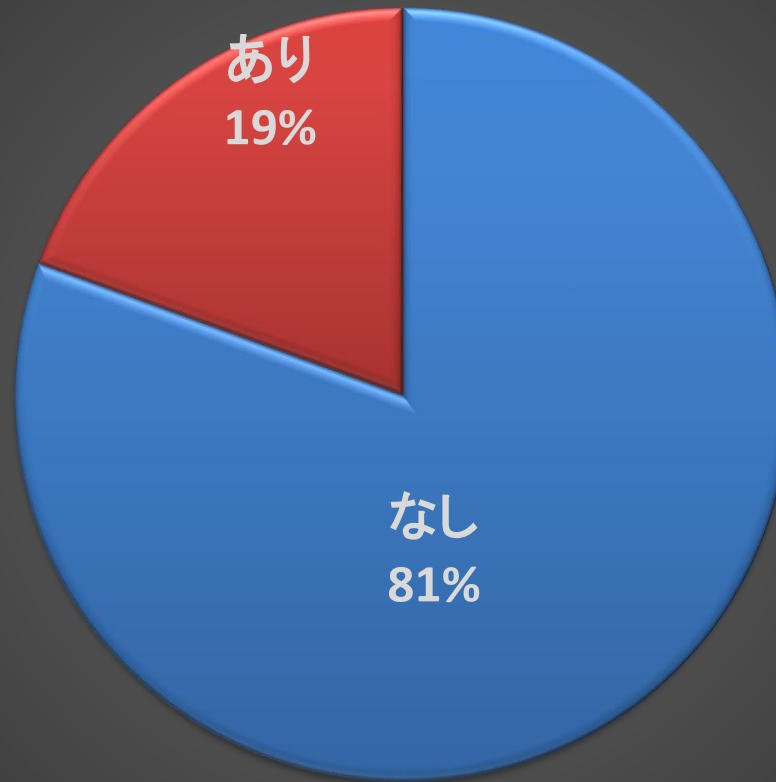
当院でのDAA治療の現状③

年齢分布



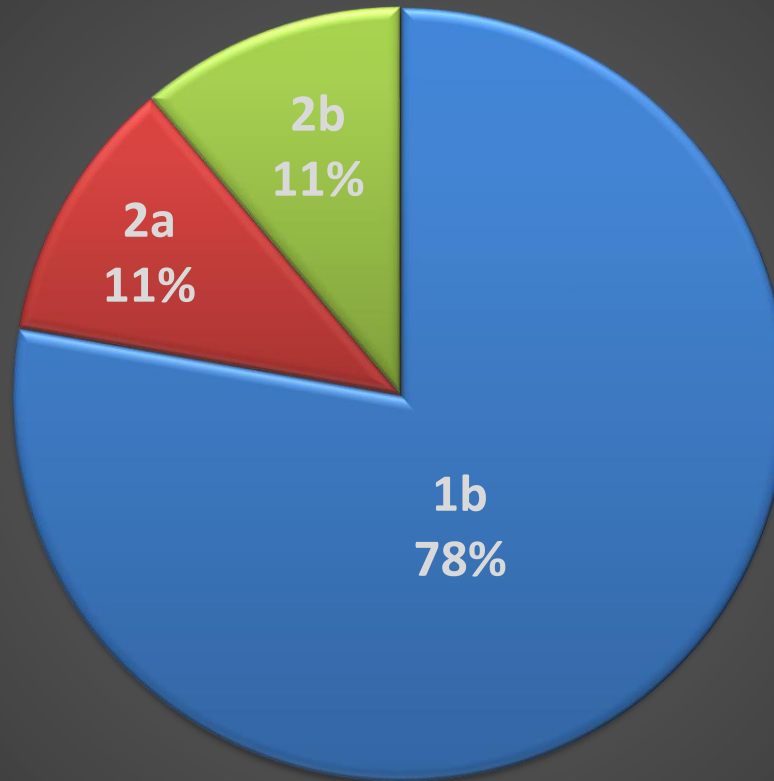
当院でのDAA治療の現状④

インターフェロン治療歴



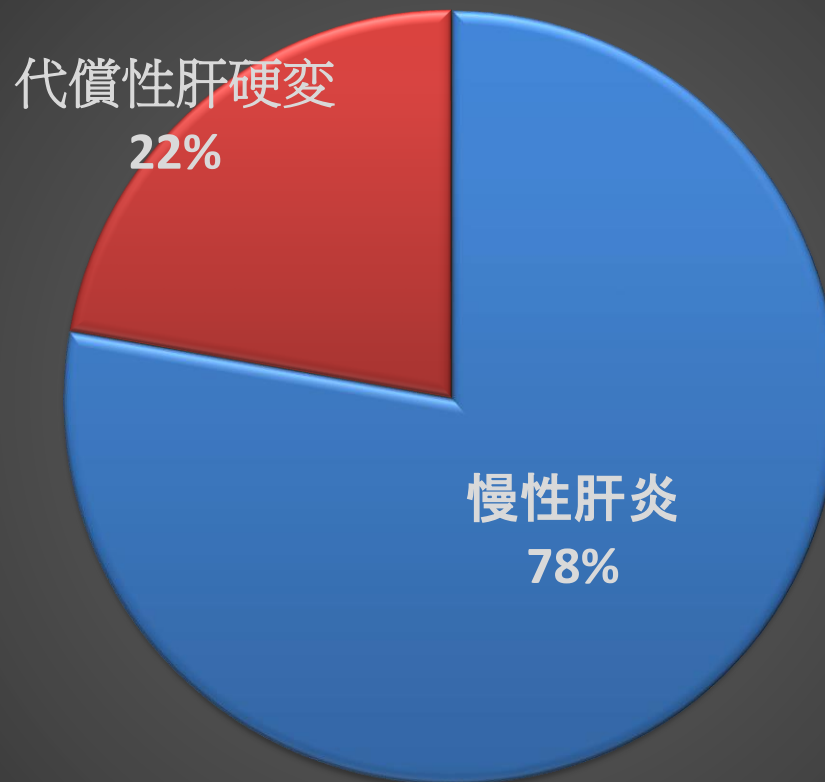
当院でのDAA治療の現状⑤

ジェノタイプ



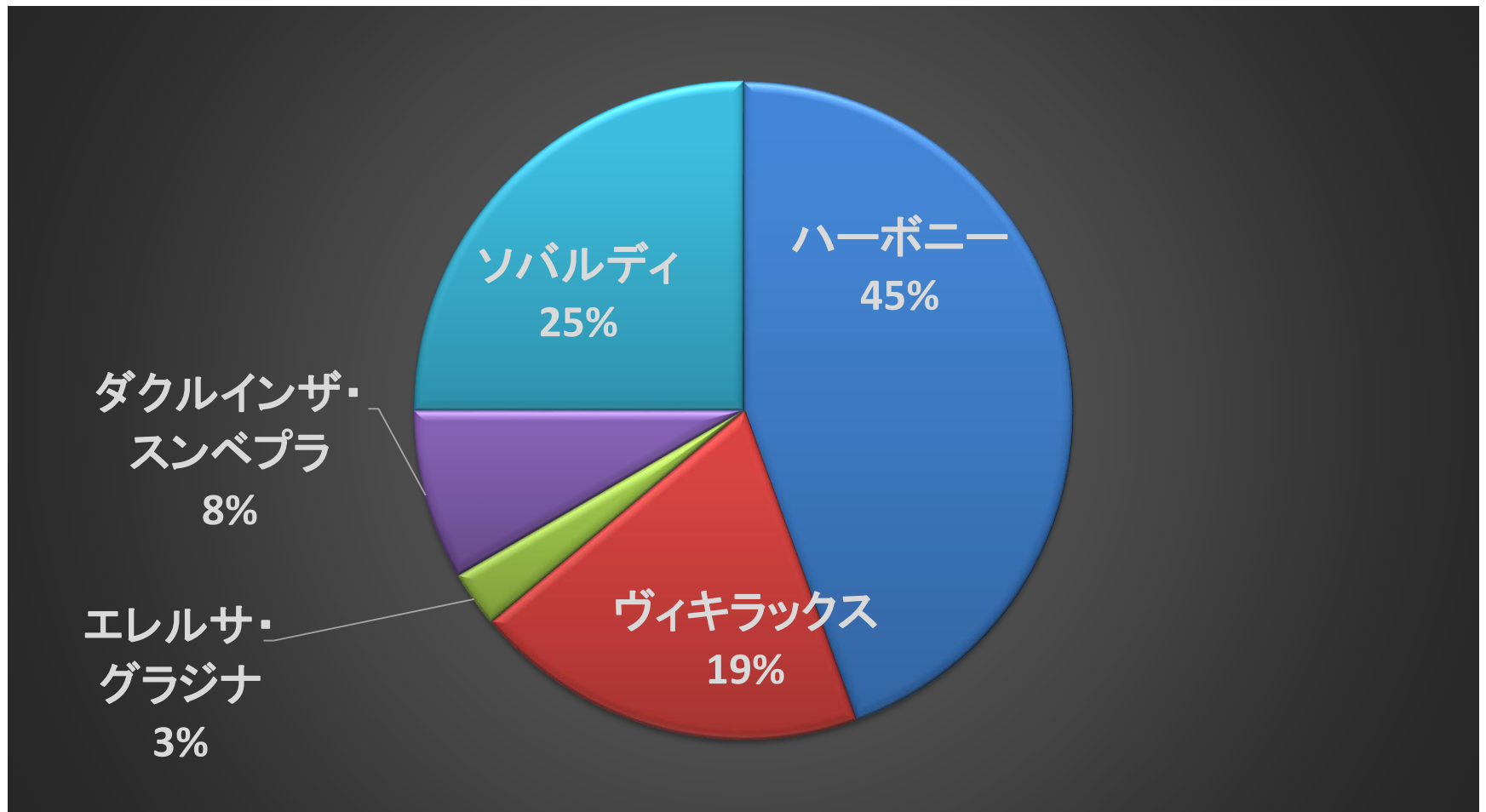
当院でのDAA治療の現状⑥

慢性肝炎・代償性肝硬変の割合



当院でのDAA治療の現状⑦

治療薬剤



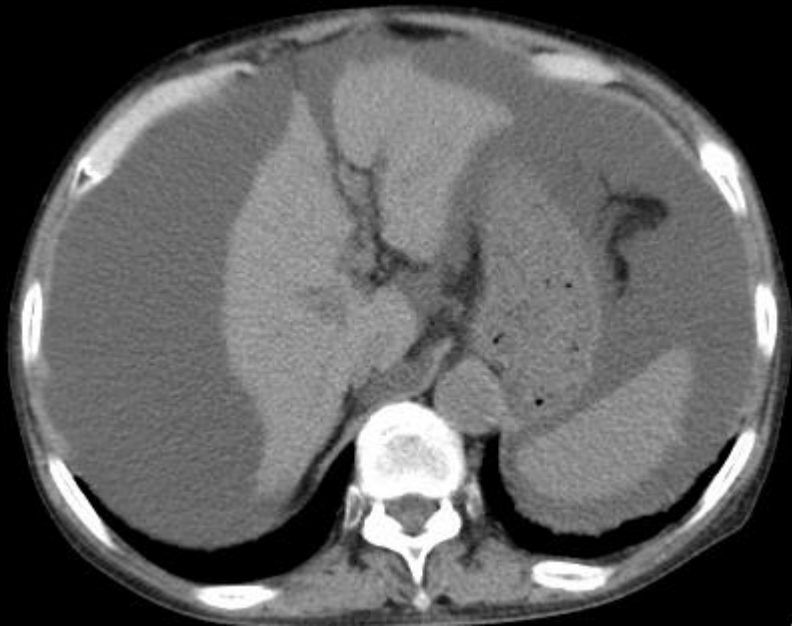
DAAs治療を受けようと思ったきっかけ

- ひ孫に移したくない(87歳, 女性)。
- 孫が生まれたので、もう少し長生きしたい(80歳, 女性)。
- 同級生はみな死んだ。戦争で生き残った自分が最後だから(93歳, 男性)。
- 夫が肝臓癌で亡くなったので、その分も自分が頑張って生きたい(78歳, 女性)。

DAAsの治療を受けた方々の感想

- インターフェロンは何だったんだろう, というくらい楽です。
- 副作用どころか, 薬を飲み始めたら体が軽くなりました。
- 母にもこの治療を受けさせてあげたかった。
- 毎日, 仏様に供えてから飲んでいきます。

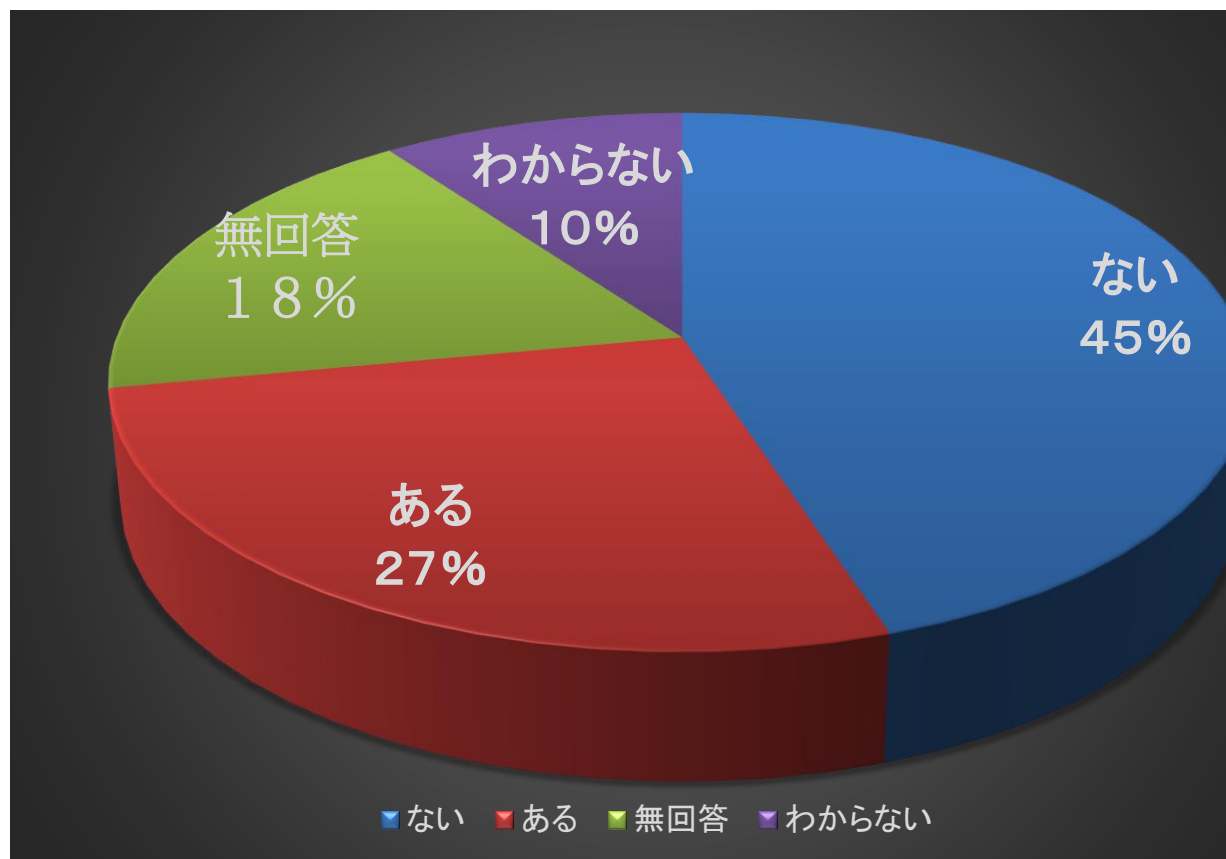
ところが、、



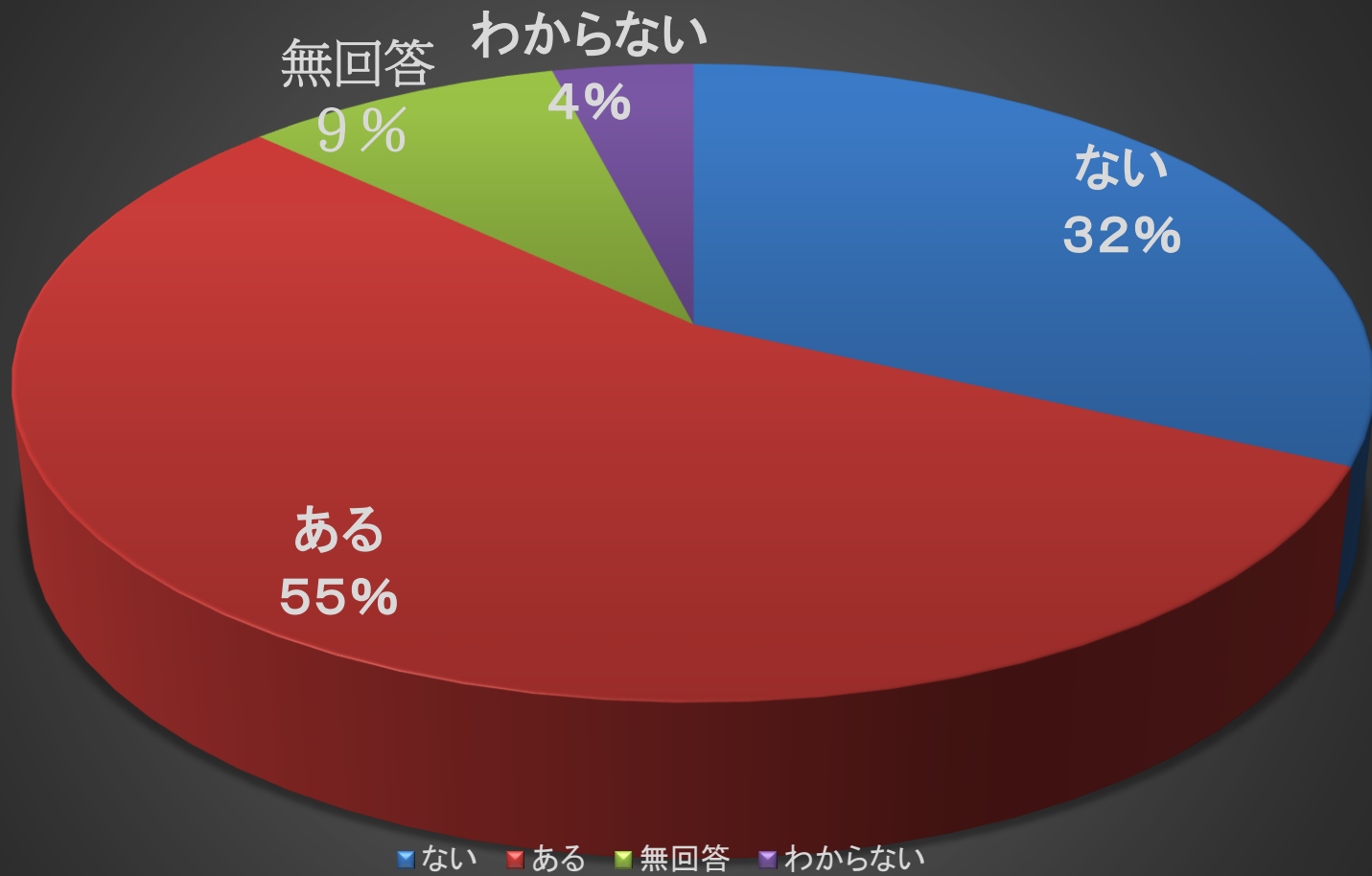
肝炎ウイルス検査を受けたことがありますか？ (竹田市)



市民公開講座
「やさしい肝臓病のお話し」
2016.6.4
竹田市社会福祉センター

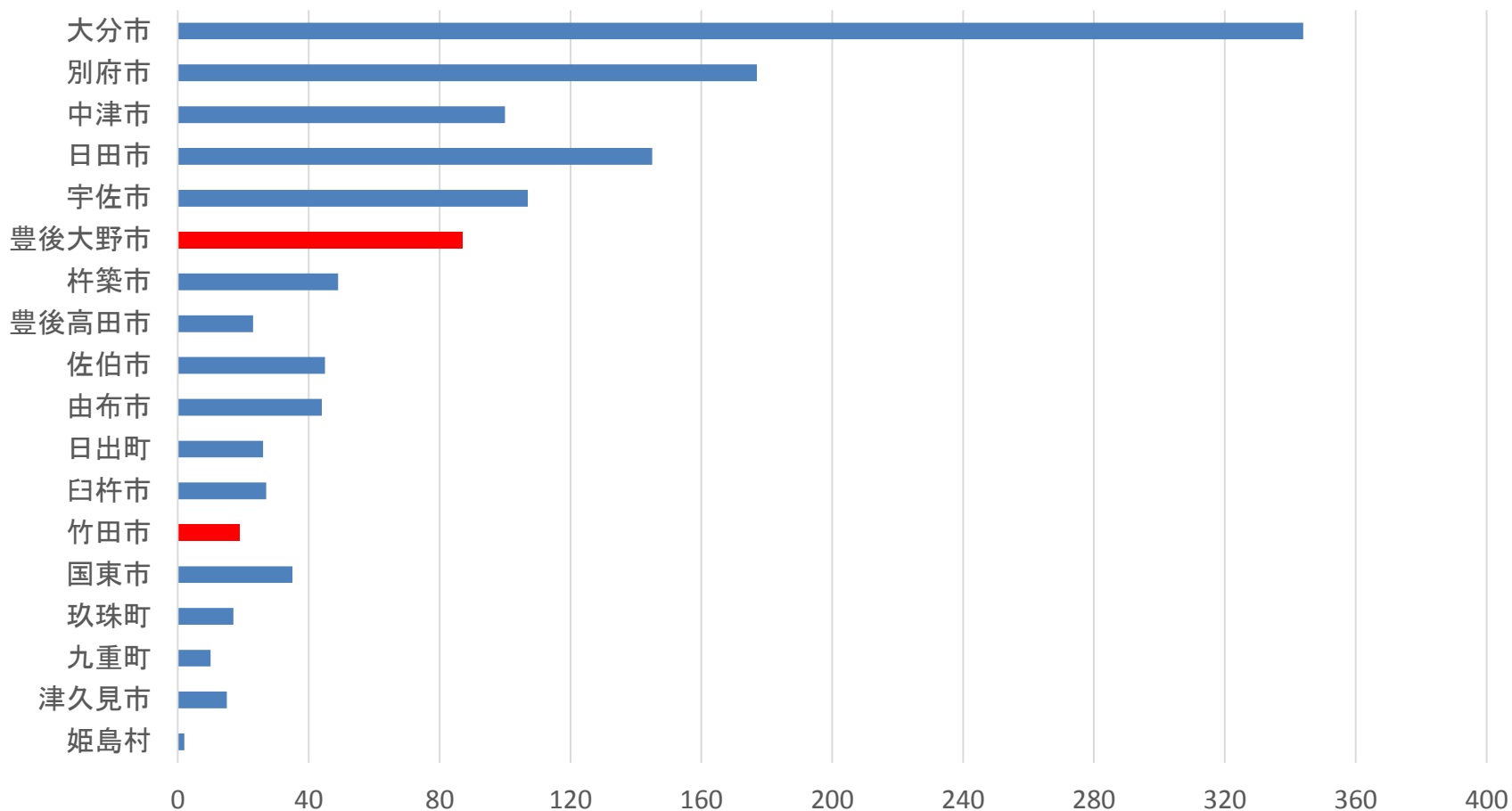


肝炎ウイルス検査を受けたことがありますか？
(大分市)



インターフェロンフリー治療の受給者数(市町村別)

平成27年度

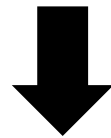


本日の内容

1. はじめに
2. 豊肥地域について(地理・人口構成など)
3. 当院でのDAAs治療の現状
4. 当院におけるC型慢性肝炎の掘りおこし

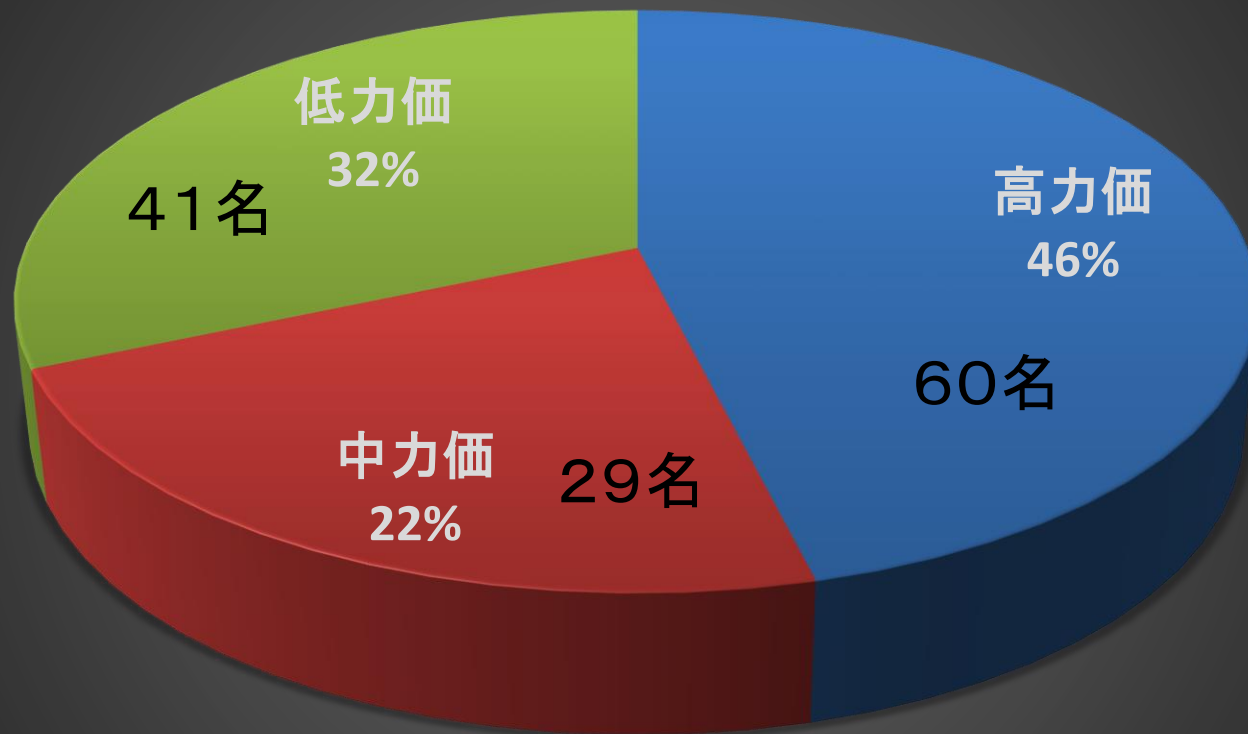
当院のHCV感染者の検索

- 検索法：電子カルテのアラート機能を使用
- 対象：外来通院・入院歴のある患者
- 検索期間：2013～2017年
- 測定法：CLEIA法

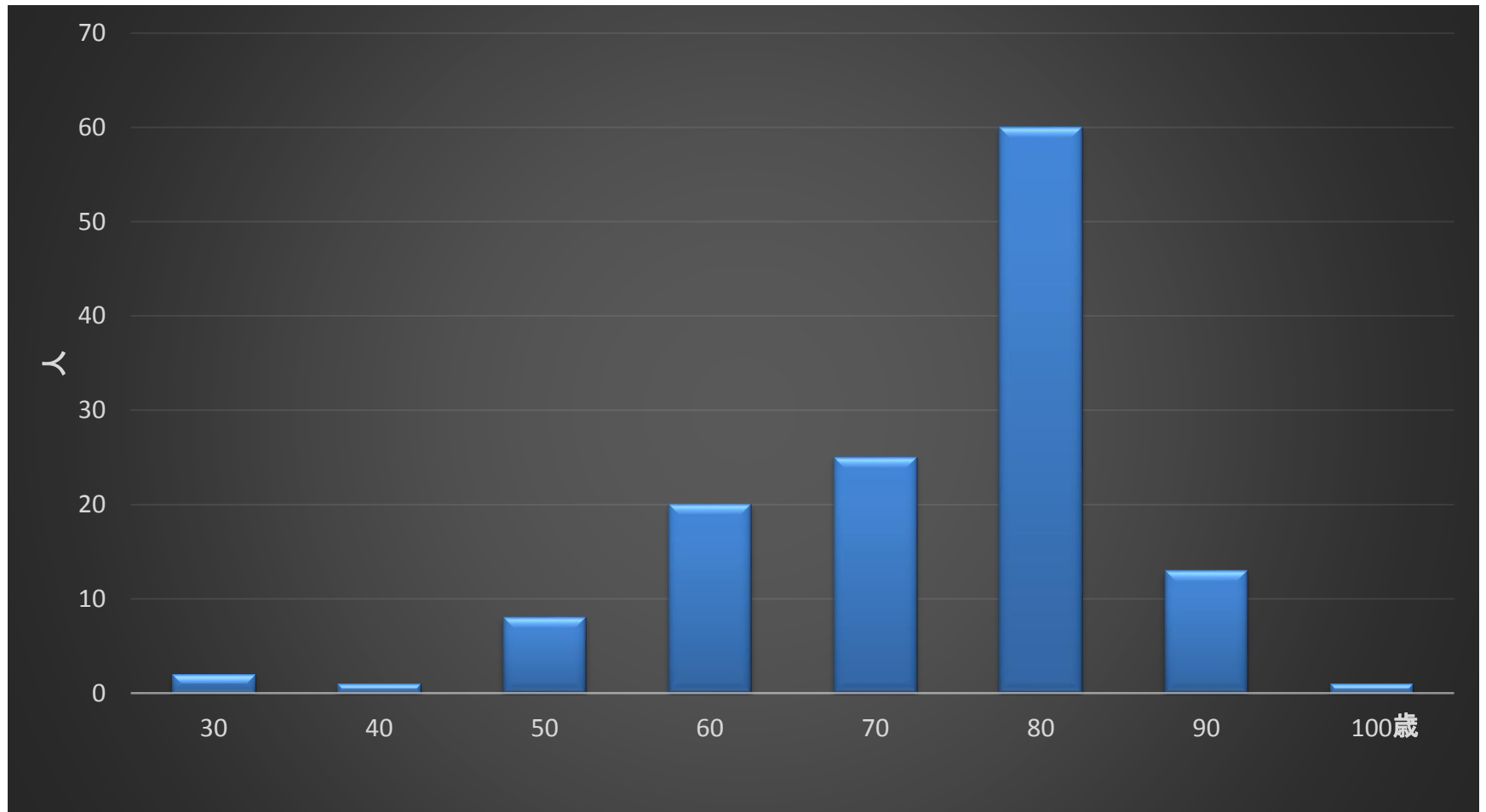


130名がHCV抗体陽性であった

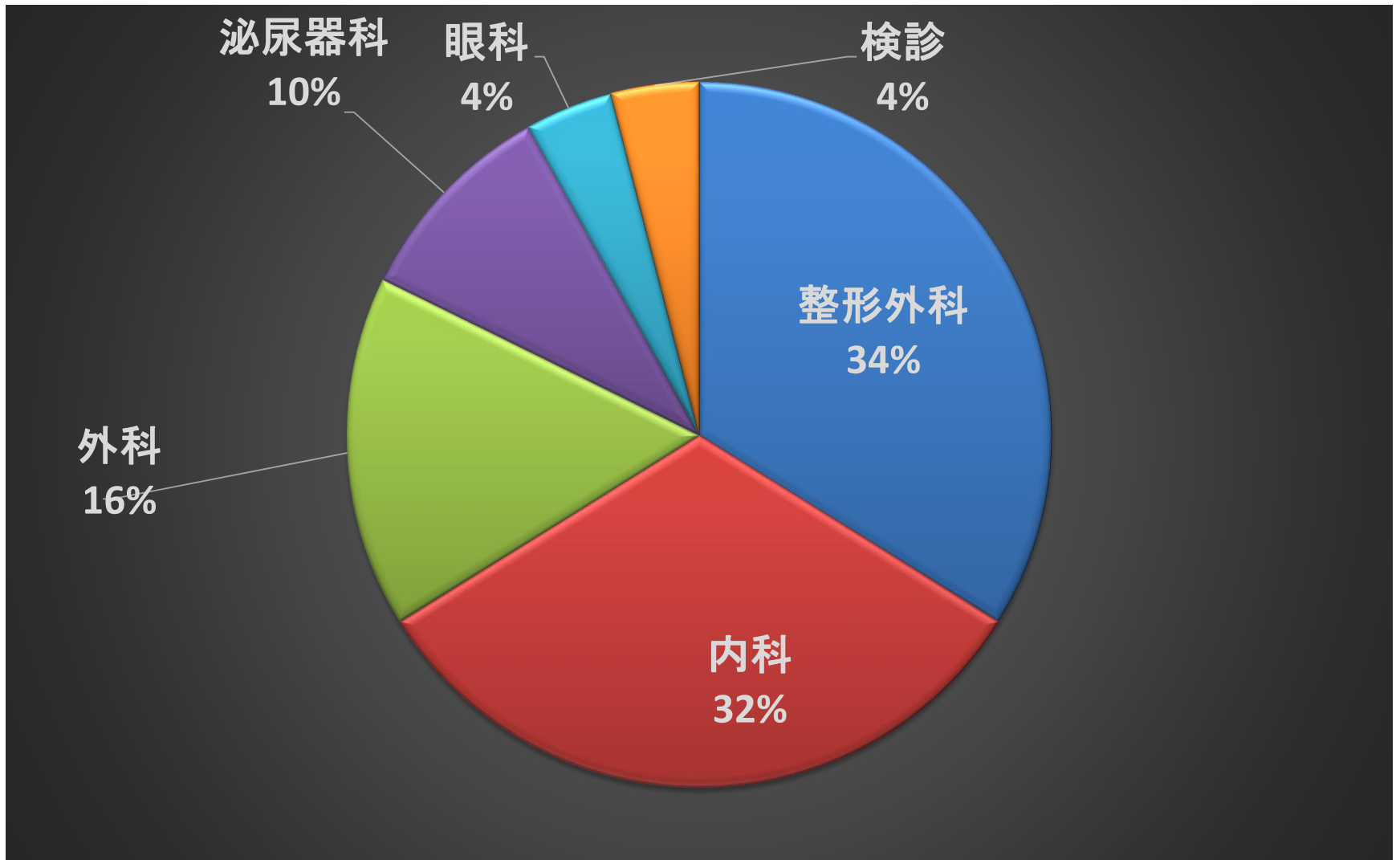
HCV抗体陽性130名の内訳



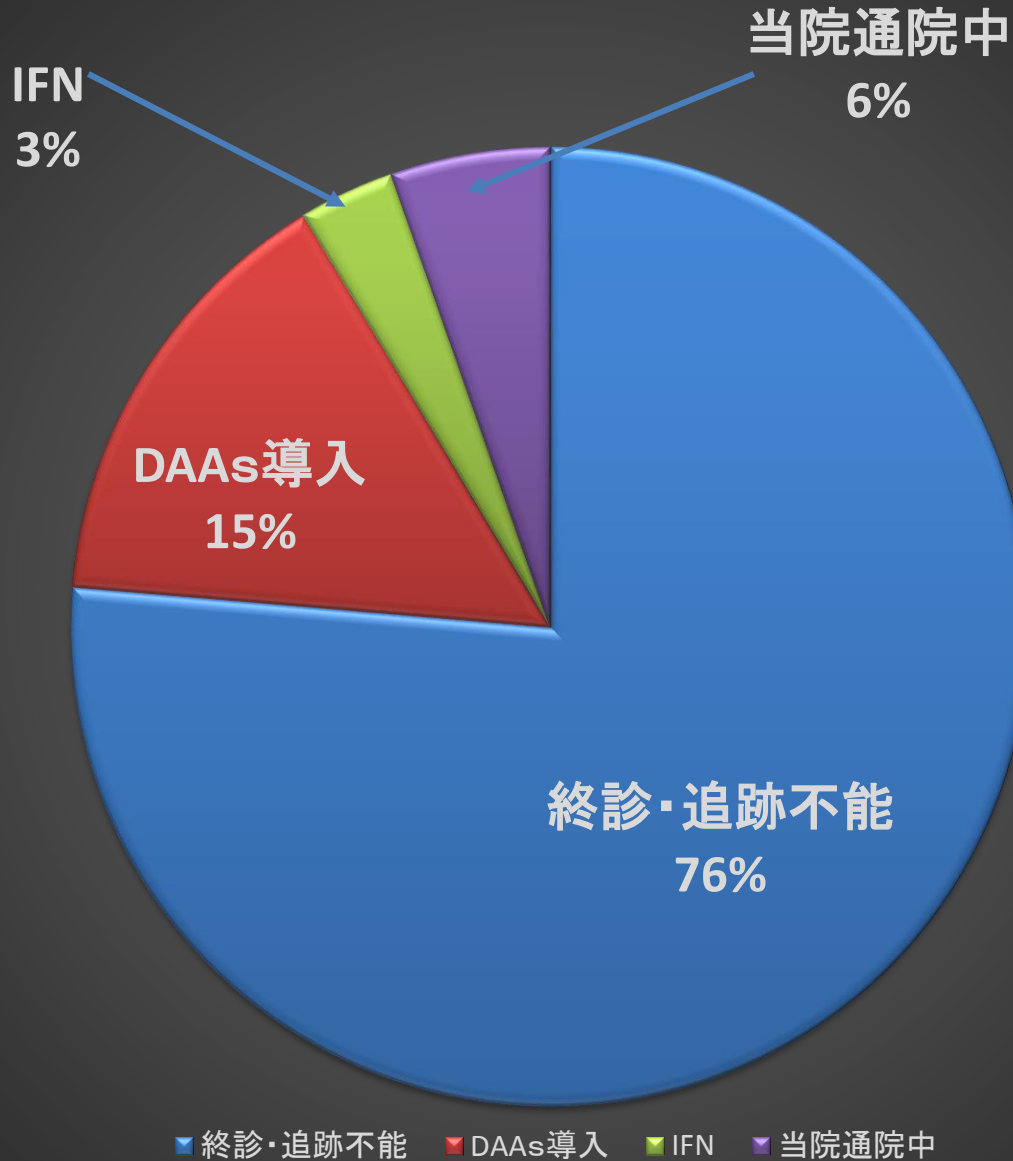
HCV抗体陽性例の年齢分布 (全体)



HCV抗体陽性が判明した科



転帰 (全体)



治療介入必要群

抗体高力価

and

血小板<15万

and/or

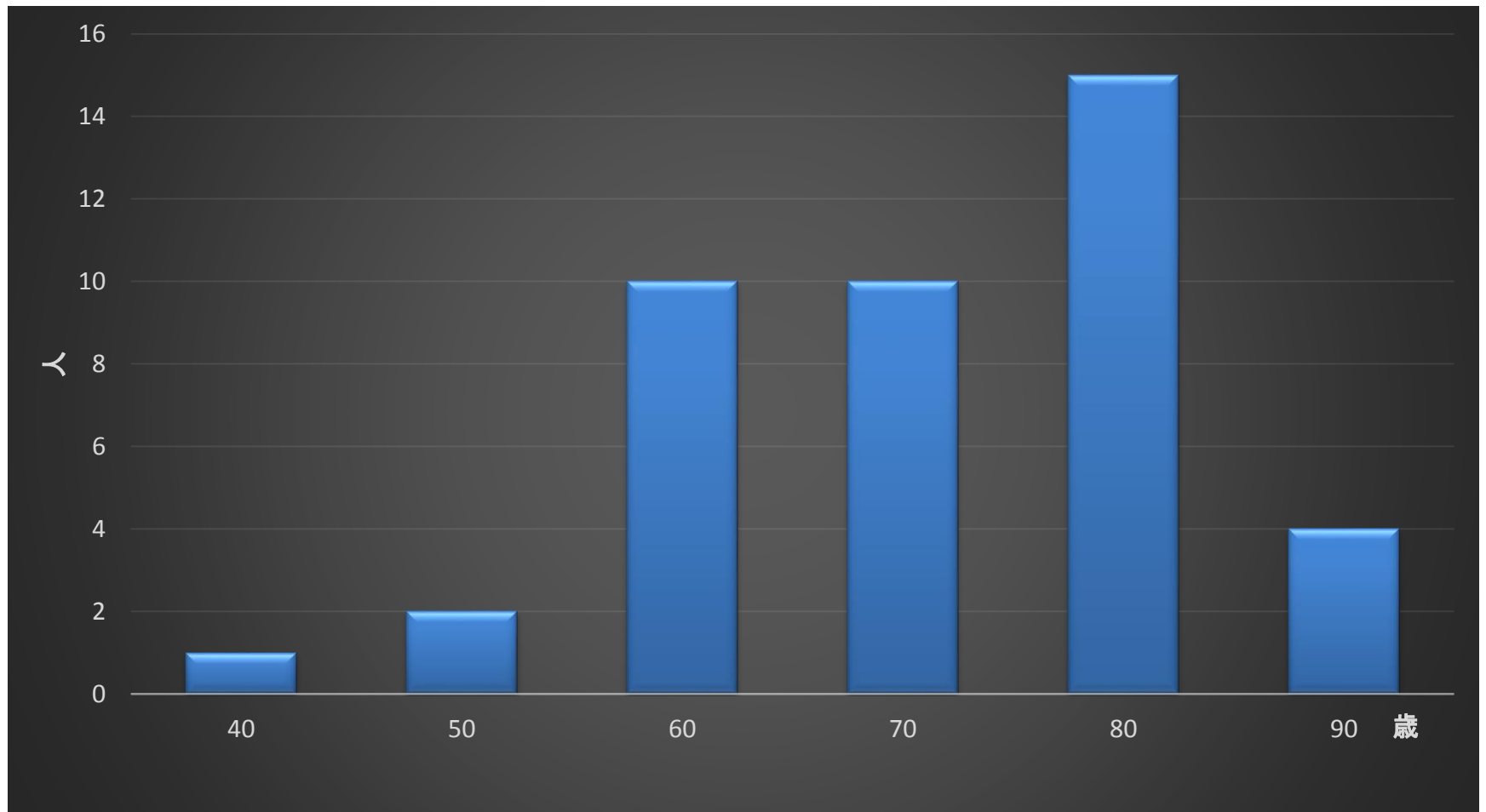
ALT>30

(非代償性肝硬変・多発肝細胞癌を除く)

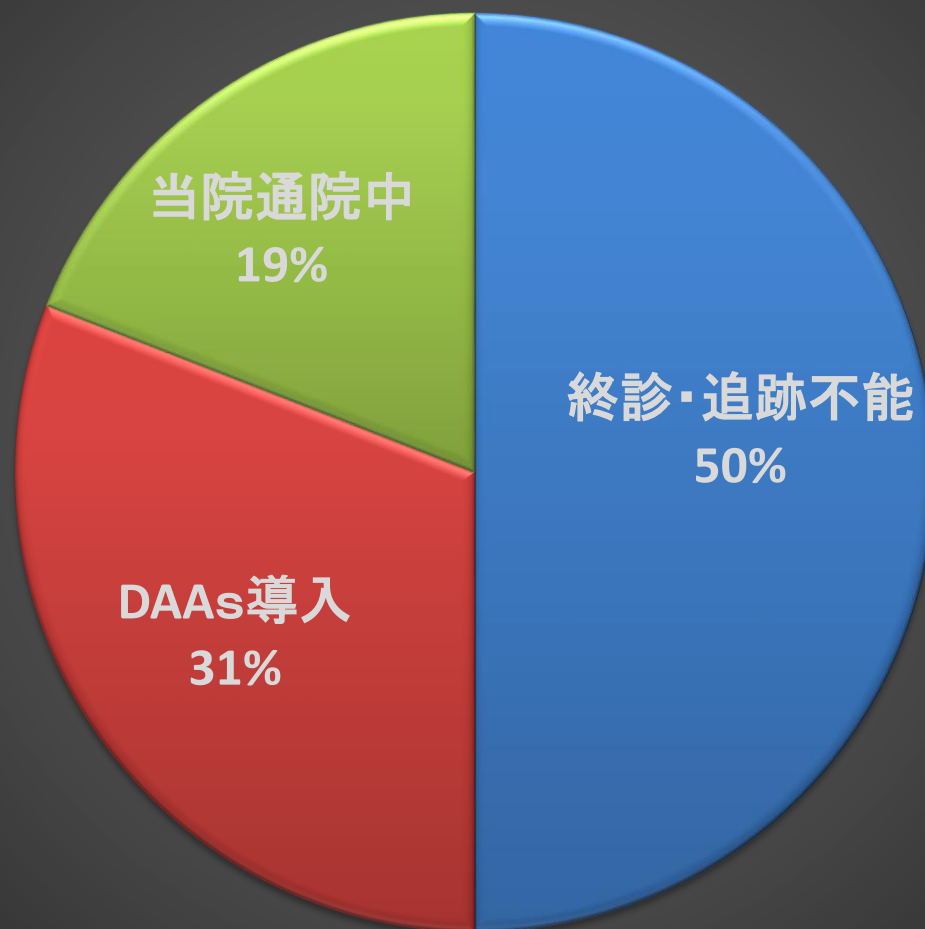


42名

治療介入必要群(42名)の年齢分布



治療介入必要群(42名)の転帰



まとめ

- DAAs治療例は紹介患者が半数以上を占めていた
- 整形外科・外科入院時にHCV感染が判明するケースが多かった
- HCV抗体高力価陽性・発癌高リスク群は高齢者が多かった
- これらの約50%は、治療の機会を与えられず、終診・追跡不能となっている

当院の現時点での対応①

C型慢性肝炎の治療が必要な患者

- 通院中・入院中
主治医あてに電子カルテ掲示板で通知
→消化器内科受診を促す
- 終診・ドロップアウト
主治医から電話または文書で受診を促す
(検討中)

当院の現時点での対応②

C型肝炎ウイルス感染を見逃さないために

- 通院中・入院中
ALT>30 and/or 血小板<15万
→HCV抗体を測定するように文書で周知
- 入院時(手術がなくても)
HCV抗体の測定を徹底する
HBs抗原も
- 地域の開業医の先生方への啓蒙
セミナー
眼科との連携

おわりに

HCV抗体・HBs抗原の測定

これまで...

- 医療スタッフサイド→感染予防
- 入院時のルーチン検査:なんとなく...?
(主治医も患者も感染を知らない)

今後は...

- 患者サイド→肝硬変・肝細胞癌を根絶する